



Bブロック全作品と講評
www.columnland.net

ママに

「愛してる」

って言ったら

「私もよ」

って言ってくれた。

近所の犬に

「愛してる！」

っていったら

「ワンッワン！」

って吠えられた。

大学の友達に

「愛してる」

ってメールしたら

「悪戯？」

って返ってきた。

アニメのヒロインに

「愛してる」

って言ったら

「次回もお楽しみに」

って言われちゃった。

高校の友達に

「愛してる！」

っていったら

「Me too!!」

って言われた。

あなたに「愛してる」って言ったら

横浜の外国人に

「じゅーむ」

って言ったら

「何ですか？」

って言われた。

電車でサラリーマンに

「愛してる」

って言ったら

「・・・」

って言われた？

幼なじみに

「愛してる」

って言ったら

「何だよ気持ち悪い」

って言われた。

妹に

「愛してる」

って言ったら

「キモッ」

って言われた。

恋人に

「愛してる」

って言われて

「うん」

って抱きしめた。

愛称

中学受験に勝ち抜き、なんとか中高一貫の名門校に入学出来た。入学して初めてのホームルーム。一人ずつ自己紹介していき、ついに俺の番がやってきた。俺は皆に強烈な第一印象を与えようと頑張ってみた。

「はじめまして、佐藤太郎です。突然ですが、誰か俺にあだ名を付けて下さい！」

唐突過ぎる俺の提案にもかかわらず、クラスメイトたちはあだ名を考えようとしてくれた。しかし、何の特徴も持っていない、モブキャラの権化みたいな俺である。名前も顔も普通すぎる。誰も何も思い付かない。思い付けない。

そんなとき、隣の席の少女がすっと手を挙げた。愛染さんだっけか。サラサラの長い黒髪が似合う、お嬢様みたいな子だ。個人的にはこのクラスで一番かわいいと思う。きつと彼女なら素敵なあだ名を俺につけてくれるに違いない！俺を一瞥し、にっこり笑った彼女が口を開く。

「佐藤君のあだ名は、**田中**がいいと思います」

えっ……。田中……。五秒程度の沈黙の後、クラス全体から田中コールが湧き起る。おいやめろ。なんぞこれ。なんでこんなに盛り上がってるの？なんか愛染さんはこっち見てどや顔してるし。謎。いやまあかわいいから許すけど。

それにしても、これだけ盛り上がってるとなると、しばらく俺は田中って呼ばれ続けるのか。ここは中高一貫だから六年間は田中で確定だろう。下手したら大学に行っても田中の名を広められる可能性が。マジかよ。俺は佐藤だよ？

「これからよろしくね、田中君」

そんな俺の心配をよそに、愛染さんがにこやかに話しかけてくれる。

まああれだな、愛染さんと仲良くなれそうだし、いいとするか。入学早々こんなかわい子と仲良くなれるなんて、俺は幸せ者だなあ。鳴り止まない田中コールの中で、そんなことを俺は思った。

譲らない想い

「もう・・・別れよ？」

そう言ってお前は去って行った

お前の俺への愛は終わったかもしれないが

俺がお前を愛しているかぎり

俺のお前への愛に終わりはない

世の中の大半の奴はいう

「お前しつこいよ」

「いつまでひきずってんだよ」

そんなの関係ねえよ

また片思いにもどっただけだろう？

なら話は簡単

もっかい両想いになればいいだけなんだから

だからさ、覚悟しろよ

俺は何度でもぶつかりにいつてやる

だって俺はまだお前のことが好きなんだ

愛の配達人

配達人は千通の手紙を預かつて
バイクで走る

でも、真実の愛の手紙しかと届けない

義理の愛の手紙は
途中の川に流した

かっこつけの愛の手紙は
肥溜めに放り投げた

自己陶酔の愛の手紙は
ヤギに食わせた

利益のための愛の手紙は
コンビニで捨てた

残った手紙はたった一通
真実の愛の手紙を宛先に届ける
そこに住む娘は返事を書いて配達人に渡した

配達人はまたバイクに乗り

返事を川に流して家に帰った

私じゃなくて、

私と同じ、

未来を観てほしいの。

愛ってなんだろう

かたちないものを理解するのは難しい

愛ってなんだろう

人を愛するという事が僕にはまだわからない

愛ってなんだろう

地球を愛するとか僕には広すぎてわからない。

愛ってなんだろう

無償の愛なんて僕には降り注いだことがない

愛ってなんだろう

大切にしたいものなんて僕にはまだない

愛ってなんだろう

僕の知らないかたちないもの

愛ってなんだろう

僕が知リたがっている未知なるもの。

愛ってなんだろう

僕の生涯をかけて探し追い求めていくもの。

The meaning of the love

あたしの心が抱くもの

ただ近所に住んでいて、公園で母親
同士が意気投合した挙句、毎日のよう
に食事をしに行ったり、泊まりにいっ
たり、その逆もあつたりして。

幼稚園でも、小学校でも、いつも一
緒にるのが当たり前だった。

からかわれても、一体何がおかしい
のか、あたしには全く分からなかった。

「ゆーくん、ねえねえ」

あたしがそうやって話しかけると、

「なに？ みいちゃん」

笑ってあなたは答えた。

そんな、何のしがらみも無い、純粹
に、一緒にいないことが不思議なよう
な、家族のような関係。

でも、あたしたちが成長するにつれ
て、ずっと一緒にいるだけのことが恥
ずかしくなった。理由は分からない。

お互いのことがよくわかってい
るつもりなのに、さっぱり相手のことが
理解できない。それでも意地になつて
そつけない態度を取ってしまう。

一緒にいるのが当たり前だったはず
なのに。それで一緒にの学校に進学し
たはずだったのに。

「ずっと一緒にいるなんて、ばっかみ
たい！」

何故かいらいらしながら。

すれ違ってばかりで、相手のことが
憎いわけじゃないけれど、大嫌い。

そんな、どこにでもいるような、兄
妹のような関係。

でも、気付いたらあたしはあなたの
ことばかり考えていた。

やっぱり、いつだって一緒にいるの
が当たり前だと思っていたから。

隣にいないことに違和感を感じた。
一体何の意地を張っていたんだろ
うと思った。

こうして一緒にいたいと思う感情
は、大好きな友達だから？

……それとも。

そんな、友人のような関係。

けれど、あたしの抱くものは、家族
愛でも兄妹愛でもなければ、友愛なん
かじゃなくて。

——恋愛。

目を開けて、あたしは見つめる。

「ゆーくん。あたしのことが好き？」

「ああ、なんだ今更」

「あたしも、あいらくぶゆー」

棒読み発音で愛を伝えると、白いタ
キシード姿のゆーくんは、笑いをこら
えるように口元に拳を添えた。

「じゃ、俺も……『ゆー』love you.
なんてな」

ゆーくんがあたしの額を小突くと、
少しよろけて、大きく広がった純白の
ドレスがふわりと揺れた。

二人の笑い声を。二人だけで共有し
て。部屋は静まり返っていく。

……誓いのキスのつまみ食いた
ら、パパに怒られちゃうかなあ。

愛することは素晴らしいことである

これは、ただのいいセリフと思えるかもしれない。
しかし、本当にそうだろうか？

最近、モンスターペアレントという言葉が使われるようになった。
彼ら彼女らは子供を愛しすぎるがゆえに他人に迷惑をかけている。
子供を愛しているからといって何をやってもいいのだろうか？
もちろん、そんなことは認めることは出来ない。
なんでもかんでも愛ということでは済まずなどというのは言語道断だ。
決して、愛することが素晴らしいこととは言えないのである。

しかし、愛という言葉で済ますような人間が多いのである。

例をあげよう。

恋人を愛しているからと言って惚気話を延々と聞かせる。

これは、素晴らしいことと言えるだろうか？

当然、これも否ということになるだろう。

愛がどうのこうのと新興宗教の勧誘のようだった

あのような行為を許しておくことは出来ない

つまり、私は愛という言葉が嫌いなのである。
二度と私の前でそんな話を振らないでほしい。

願い。

去年の夏、妻が倒れた。原因不明の病だった。妻はどうってことないと強がっていた。しかしその病は徐々に妻の体をむしばんでいった。

去年の冬、妻はあの病により歩けなくなった。車いすでの生活が始まった。僕の看病に、妻は「一々「ありがとう。」と言った。それが、時が経つにつれ、「ごめんなさい。」に変わっていった。その言葉を聞いたたび、僕は妻を叱った。

今年の春、とうとう妻は寝たきりになった。体中が痛い、死にたいと、妻は言っていた。いつも笑顔で輝いていた自慢の妻が苦しむ姿を、僕もこれ以上見たくはなかった。

今年の夏、妻は喋られなくなった。最後に聞き取れた言葉は、死にたい、だった。「俺が代わってやれたらいいのに。」僕がふと発した言葉に、妻は涙を流した。その涙でさえも、もう弱々しくなっていた。

今年の秋、妻は完全に思考も停止しているようだった。僕が何を話しかけても、ピクリとも動かなかった。どうしてこうなったのか、妻は考えていたのだろうか、それとも僕だけが考えていたのだろうか。

今年の冬、医師にもう回復は不可能だと言われた。医師に地獄を通告された後、僕は妻のいる病室へと向かった。

病室に着いた僕はある決心をしていた。僕の最大の愛で、妻の願いを叶えようと。妻の手を握り締めた、冷え切った妻の手からは生気が感じられなかった、外は雪が降っているくらい寒い、妻の手を摩って温めることはもうしなかった。

僕の愛は、もう抑えられるはずもなかった。気づくと僕は妻を抱き締めていた。妻の鼓動が聞こえる。こんなにも大きな生きているって証がまだあった、それに気づき僕はさらに強く妻を抱きしめた、最大の愛で。

どれくらい時間が経っていただろうか、僕はまだ妻を抱き締めていた、病室には静けさが漂っていた、窓に付着する雪の音でさえも、聞こえていた。

つないだ手

はじめは固く結ばれていた。
離さないと誓った。

それは時に傷つけあう。

引「掻き合う。

爪が食い込む。

それでも決して離れることはない。

それは時に片方が緩む。

離そうともかく。

必死に振り解く。

それでも決してもう片方は離さない。

それは時に涙が零れ落ちる。

暖かく握り返す。

すべてを包み込む。

それでも稀に握り疲れることもある。

いつまでもそれは繋がれたまま

どんなことが起きても離れず

固く強く握られ続ける。

これからもずっと。

そんな僕らの愛の形。

東京の大学に入って四ヶ月、なんとか期末試験も乗り切り、夏休みがやってきた。盆にはサークルの活動があるので、盆前に三日間だけ実家に帰ることにした。実家は茨城で、電車で二、三時間程度で帰ることができる。

帰りの電車の中で、実家に帰ったら墓参りでもしようかと考えていた。私の家では毎年きちんと「お盆」をやる。祖父母が伝統と様式にこだわる人物なので、ちようちんや祭壇なども用意する。今年は「お盆」に参加できないので一足先に墓参りをしよう……というのは建前で、実際は祖父母からお小遣いをもらうための作戦、である。述べたように、祖父母は様式にこだわる、というか行事が好きという感じで、孫である私が進んで行事に参加すると非常に機嫌が良くなるのだ。そして終わりにはいくらか包んでくれる、といった感じである。貧乏大学生には嬉しい限りである。いたい何に使うのか。

そんなことを考えていたら、地元の駅まで着くのはあつという間だった。電車を降りて、ここからは車である。母が駅前のロータリーに迎えに来てくれていた。私は荷物を車のトランクに入れ、後部座席にゆつたりと座った。ちようどバックミラーで母の顔が見えるか見ないかといった位置だった。車が走り出して十分、母が大学での生活を聞いてきた。私は面倒くさがって、

「特に面白いことは無いよ。」と答えておいた。このとき、母の表情は見えなかった。

家に着くと、祖父母は留守にしていた。病院に行っているらしい。帰って来たものの、引越しの際、あらかたの荷物は全て下宿先に持って行ってしまったので、特にすることもなかった。暇だったので、私に通っていた中学校に遊びに、もとい凱旋に行った。夏休み中でも部活があるので、

生徒はたくさんいたが、もちろん後輩に顔見知りなどいない。当時の先生たちも多くが異動してしまったので、話ができたのは数人だった。母校が少し遠く感じられた。昔、担任が、

「私はいつまでたっても君たちの先生です。」

と、言っていたが、学校はいつまでも私達の物ではない。主役は次の世代へと移っていくのだ。

中学校を出て、田んぼ道を散歩して家に帰ると、祖父母が帰ってきていた。テーブルの上にはお寿司が並べてあった。

「今日帰ってくるって聞いたからお寿司にしたんだべ。」

祖父がそう言う中学生の第二人も居間に入ってきた。私がお皿と醤油を用意しようと台所へ行ったら、ちようど父が仕事から帰ってきたようだった。

食事をしながら、私は大学での生活を話した。サークルの話や変な教授の話等々。会話が切れたところで、さりげなく聞いてみた。

「今年は盆迎えとかやるの。」

すると、母が答えた。

「おじいちゃん足が悪くなっちゃって。今年はお墓参りもできそうにないわ。だから今年は祭壇を立てるだけにするわ。それにあんたは盆前に帰ってしまうでしょう。」

今まで「お盆」になど興味はなかったが、毎年やっていたことを途端に止めるのはなんだか変な気分であった。

食事後、祖母がこっそり私に言った。

「気を使ってくれてありがとね。でも何もしなくていいんだよ。私らはお前の無事な顔さえ見ればそれでいいんだから。」

そう言ってお札をくるめたティッシュを渡していった。

やっぱり墓参りには行くことにする。

うえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬねの
はひふへほ
まみむめも
やゆよ
わをん

ないと寂しいんだもん。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	あなたは誰に届けますか？	8 pt	4 位	4 sp
		世界中から、たっくさんのI love you ! よく調べたなあ。 ワールドワイドな今週の表紙でした。いろんな解釈を誘って最多特別賞です、おめでとう！ 特別賞：19人の愛人賞（世界各地に19人の愛人がいるという解釈をする。）何語で賞？（委員長一推しだったのよーん!!）totti賞（tottiくんが選びました！）よく調べましたで賞（そのまんまの意味で） イチオシフレーズ：「????」×3 「Yo tee quiero」		
A02	プロローグ	7 pt	5 位	0 sp
		家族単位で引きこもってアバター通信。なんだかネット社会の暗喩のようですね。 そのアバターにだじな生殖を託したものの（って、もっと前に気づけよって話ですが）、敢えなく逃亡され。一例の失敗だけで潔く撤退してしまう科学者さんは、諦めが良すぎる気もしますが、きっとそんな生物だったのでしょう。 そして、新たな「人類」へのプロローグ。 あちこち謎を残しつつ、深読みを誘うつくりでした。 宇宙のどこかに愛の外部メモリは眠ったまま……		
A03	恋愛文化論	0 pt	11 位	0 sp
		堂々の正統派登場。 人が動物と異なる誇るべきものとしての文化的恋愛。ていねいな組立で、しっかり骨太にロジックが通っています。おつかれさま！ イチオシフレーズ：「やれ殺人」（命令文的な意味で。）		
A04	続・花と蝶と少女	2 pt	8 位	3 sp
		なんと、なつかしの続編。 甘いけれど、ちっともどろどろしていないふたりの姿がこちよい。 五十年後と言わず、もっと先までお幸せに。 特別賞：作者で賞（作者が班にいとバレていたから）勇気賞（顔がわれてる中、続編を出してきた勇気）続編賞（続編だから） イチオシフレーズ：「!？」		
A05	次世代への	2 pt	8 位	0 sp
		寒く凍えて滅んでゆく人類。犬へと次世代を託して。本能的に震え続ける身体、部屋になだれ込んでくる冷気の描写など、気持ちと空気感の表現がくつきりあざやかです。 作者さんの描写力に浸りきりました。		
		14 pt	2 位	1 sp

A06	無題（サランヘヨ）	サランラップでサランヘヨ。うまいなあ。 CMにこのまま使えそうな、ナイス・リズム♪ ささっと仕上げて、さらりとシルバー・メダル、イチオシフリーズ大賞のおまけまで付きました。おめでとう!! 特別賞：サランラップ賞（うすっぺらい） イチオシフリーズ：「小さな愛（サランラップ）」 「サランラップ/ヘヨ」「サランヘヨ」×3「愛してる（サランヘヨ）」			
A07	愛の花言葉 恋の化学反応	<table border="1"> <tr> <td>35 pt</td><td>1 位</td><td>3 sp</td></tr> </table> あたかも全セッションの集大成。 すべてのお題を組み込んで、かつ、とても自然に王道恋愛。 チャッカマンにマジックローズとアイテム使いのすばらしさにブラボーです。狙い澄ましたゴールド・メダル、圧勝の戦績で飾りました。おめでとう、ねっしー!!! 特別賞：コラムキング（嘲）賞（まとめ的な）努力賞（見た感じすごいがんばったのが伝わってきた）今までのお題が全て入っているで賞 イチオシフリーズ：「私と共犯になりなさい。」「言わせないでよ、バーカ」	35 pt	1 位	3 sp
35 pt	1 位	3 sp			
A08	無題（見つめあいたい）	<table border="1"> <tr> <td>2 pt</td><td>8 位</td><td>0 sp</td></tr> </table> 「ただそれだけ」のフレーズがピリオドのように、あるいはエコーのように響いて、行間のとりかたも、だんだんとゆったりと、まるで眠りを誘う子守歌のような。 いいですね、このおだやかさ。	2 pt	8 位	0 sp
2 pt	8 位	0 sp			
A09	葛藤	<table border="1"> <tr> <td>3 pt</td><td>7 位</td><td>1 sp</td></tr> </table> 恋をする資格は他人を愛すること？ どちらが先で、どちらが後か。 ぐるりぐるり。因果はめぐる。自らの心のうちを見つめての自問自答のような。 特別賞：数学科賞（必要十分性の証明が必要）	3 pt	7 位	1 sp
3 pt	7 位	1 sp			
A10	「愛」の気持ちを	<table border="1"> <tr> <td>5 pt</td><td>6 位</td><td>1 sp</td></tr> </table> 作者さん、お相撲好きなんだろうなあという気持ちが伝わってきます。 これだけ愛してるんだからさ、しっかりリターンしてくれよ、と大相撲へのエールが力強く響きます。 特別賞：愛を感じるで賞（あふれでる「大相撲」への愛）	5 pt	6 位	1 sp
5 pt	6 位	1 sp			
A11	落し物	<table border="1"> <tr> <td>0 pt</td><td>11 位</td><td>1 sp</td></tr> </table> あーあ、溶けちゃったんだ。いったい誰の落し物だったのでしょうか。 答えのない絵本。くっきり情景が見えてきて、なごみました。 そうもちろん、あの「命売り」で満場の魂をふるわせた絵本作家さんからの今期さいごの愛の贈り物です。 特別賞：臭（クサ）いで賞（とても惹かれてしまった、、なぜか。）	0 pt	11 位	1 sp
0 pt	11 位	1 sp			
		<table border="1"> <tr> <td>12 pt</td><td>3 位</td><td>1 sp</td></tr> </table> 誕生の、祝福の瞬間。きっとこの赤ちゃんは幸せにすくすく育っていくんだろうなあと確信できる、しあわ	12 pt	3 位	1 sp
12 pt	3 位	1 sp			

A12	幸せの瞬間	せ満開のハッピーバースデイ。 ひとつもムダなフレーズの無い、コンパクトなメッセージカードのような今学期の読み納めでした。おめでとう、ブロンズ・メダル！ 特別賞：愛の結賞（赤ちゃんかわいいよ！） イチオシフレーズ：「ーおぎゃあ、おぎゃあ」
-----	-------	---

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	あなたに「愛してる」って言ったら	14 pt たっくさんの「愛してる」。 Bは、いろんなシチュエーション篇です。 ちょっと冒険しすぎじゃないかなあと付いていったら、幸せ色のラストにほっこり。シルバー・メダルでした、おめでとう!! イチオシフレーズ：「じゅてーむ」	2 位	0 sp
B02	愛称	2 pt 愛染さん、センスありすぎでしょ！ 学園ラブコメのオープニングのような、心うきうきの展開でした。 愛賞コールが花開いて、最多特別賞&イチオシフレーズ大賞のダブル受賞です、おめでとう!! 特別賞：愛賞（愛染さんに田中って呼ばれたい）愛賞（お題との適合）愛賞（他と違う）愛賞（「田中がいいと思います。」by愛染）田中賞（かわいそうだったから。）田中賞（実話ですか？） イチオシフレーズ：「佐藤君のあだ名は、田中がいいと思います」×3「田中」「なんか愛染さんはこっち見てどや顔してるし。」×2「かわいいから許すけど」	10 位	6 sp
B03	譲らない想い	0 pt わあ、譲らないんだ、たくましい。 ねちねちとストーカーするのではなく、堂々と碎け散りに行く。それでこそ！ 特別賞：ストーカーに注意!!賞（これがエスカレートしたらストーカーになってしまいそうだから。）あきらめま賞（こだわりすぎ）	11 位	2 sp
B04	愛の配達人	17 pt 千通に一つのきらめき、と思いきや。 あーあ、川に流しちゃうんですね。まごころこもった真実の愛の手紙だったのに、娘の心に届かない。義理の返事しか戻らない。 童話っぽく展開しつつ、恋愛の実り難さを寓意するような、せつないラストでした。 しあわせローズを選んだAブロックに対し、悲しみ川を選んだBブロックという対比になるのでしょうか。 ラストの覇者は、なんと先週の「うおりゃああ」、ディフェンディング・チャンピオンの連覇でした。おめでとう!!!	1 位	0 sp
B05	無題（未来を）	3 pt いやあもう、こんな決めセリフを言われたら、断れないよね。 ぐさり。一生忘れがたくなりそうな勝負フレーズでした。 イチオシフレーズ：「私じゃなくて、私と同じ未来を観てほしいの。」	9 位	0 sp

B06	The meaning of the Love	0 pt 11 位 0 sp 「愛ってなんだろう」 こつこつと一行ずつていねいに積み重ねてゆく問いかけ。 その誠実さが好印象です。 タイトルのフォントもいいなあ。
B07	あたしの心が抱くもの	9 pt 6 位 1 sp あまあああああい！ T A陣の絶叫が響き渡りましたとさ。 いやもうここまで徹底して甘いのは、いっそ大アリでしょう。おしあわせに。 特別賞：ゆー賞（ゆーだから。） イチオシフレーズ：「誓いのキスのつまみ食い……怒られちゃうかな」「つまみ食い」「『ゆー』 love you.」
B08	愛することは素晴らしいことである	4 pt 8 位 0 sp 「愛なんて、ふんっ」 ちょっとナナメに構えて、でも愛への関心大ありのツンデレ姿勢と見た！ 違うかな。 もっと語ろうぜと読者サイドからいじりたくなる親しみやすさがナイス。
B09	願い。	13 pt 3 位 0 sp シリアス一直線。一段階ずつ着実に容態が下降してゆく描写が哀切です。 すごい描写力、ほんとに迫真のリアリティですね。 おめでとうブロンズ・メダル！
B10	つないだ手	12 pt 4 位 0 sp もちろん物理的に手をずーっとなぎ続けることはむずかしいけれど。 心と心が、いろんな困難に耐えつつ結ばれ続ける、そんな強い愛の姿を「手」に象徴させて、くっきり印象的です。
B11	「いろはにほへど…」	5 pt 7 位 1 sp ゆっくりと変わりゆくもの。ふるさとだって、それは同じ。たまに訪れるからこそ、そんな変化がしみじみ実感できる。 特に事件は起きないけれど、学校やおじいちゃんや、日常のなかに小さな「変化」を読みとる作者さんの繊細さが光ります。 特別賞：文部科学賞（教科書に出てきそう） イチオシフレーズ：「いろはにほへど…」
B12	無題（ないと寂しいんだもん。）	11 pt 5 位 5 sp 何に見えるかな？ ハンマー？？ フェニックス発、親知らず経由で、「だもん」に着陸した作者さん、狙われていると知りつつ、今週もやっぱり T Aさんのツボでした。 ラ行がないことは、じつは作者さんも T Aさんも気づいてなかったとか……。 特別賞：“ あい” が足りない賞（ついでに“ ラ行” もないですね） あいなし賞（ラ行なし） アイデア賞（発想がよかった） ら行がないで賞（だってら行がないんだもの） 賞（賞の名前ないと寂しいんだもん） イチオシフレーズ：「ないと寂しいんだもん。」×2